

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属:輸血検査研究班 提出日:平成 28 年 3 月 1 日 報告者:小木曾 美紀

内 訳	研究会 (行事番号: 150031460)
開催日	平成 28 年 2 月 13 日 (土)
時 間	開始: 15 時 00 分 終了: 17 時 30 分
場 所	名古屋セントラル病院 多目的ホール
テーマ	輸血検査の精度保証を考えよう 生涯教育履修点数 専門教科 <u>20</u> 点
司 会	氏 名: 沖 かずよ 施設名: 厚生連 海南病院
講 師	1. 原田 康夫 (厚生連 豊田厚生病院) 2. 岩本 泉 (オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社) 3. 長谷川 勝俊 (藤田保健衛生大学)
内 容	<p>輸血検査の精度保証を考えよう をテーマとして、平成 27 年度に実施した愛臨技精度管理調査報告と輸血検査の精度保証担保のために必要な輸血検査用試薬の種類と特性について講演いただき、さらに不規則抗体同定のプロセスとその同定した抗体の統計学的評価について講演いただいた。</p> <p>1. 「平成27年度精度管理調査報告」 輸血検査精度管理調査結果とその解説を行った。また測定試薬や測定方法について報告した。その解説を行った。さらに今年度から新たに文章設問を開始した。その解説を行った。全体として、正答率も高く、輸血検査の標準化が浸透してきたと感じられた。</p> <p>2. 「適切な凝集反応を得るために ー反応増強剤の試薬特性と精度保証ー」 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社 テクニカルソリューションセンターの岩本 泉 氏より各種反応増強剤の特性・特徴について解説いただいた。また、Rh血液型の判定時に欠かせないRhコントロールの使用と必要性について解説いただいた。</p>

	<p>3. 「不規則抗体検査と統計学的評価」</p> <p>赤血球型ガイドラインに沿った不規則抗体同定方法について解説を行った。同定された不規則抗体の特異性を統計学的に評価するための確立計算方法 3つ について それぞれの特徴や違い、計算方法について解説を行った。最後に症例問題にて不規則抗体同定から統計学的評価を行う演習を行った。</p>
参加者	<p>総数 75名 (愛臨技会員 69名、賛助会員 6名)</p>
後援など	<p>特記なし</p>